

ドイツ連邦食料・農業省 最新農林漁業情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 9
2018・7・8

1 森林と林業は連邦政府の持続性の目的に貢献 (2018・6・21)

連邦大臣クレックナーは、2018年6月21日の森林散歩に際して、連邦農業省の新たな森林委託者 Cajus Julias を、プレスに紹介した。ヨーロッパ林業研究所の代表者とともに、持続的な林業、気象保護そして森林自然保護に関して、メディア代表者と林業事務所 Tesel 林務官とともに語った。

さらに林業は、連邦政府の持続性目標の達成に貢献している。他の分野にはなみられないように、林業は来たるべき世代での要望に合わせている。長年来の利用にも拘わらず、バイオマスー木材蓄積におけるように、森林面積を増大させている。持続的な林業を通じた森林の多面的な付加価値

持続的な林業を通じた森林の多面的な付加価値

ドイツの森林は、持続的に保護されそして利用されている。森林はもはや再生以上に伐採されるべきでない。林業における持続性は、森林の全ての機能と効率性を内包している。さらに持続的な原料の木材は、優れたエコ気象バランスを有している。我々の森林は、持続的な木材利用と年間約 1 億 2700 万 t の CO₂ を、大気から軽減している。これは気象保護の大きく貢献している。

さらに森林は約 110 万人の人々のために森林労働と、それに伴う収入を提供している（特に農村地域において）。同時に森林は保護すべき動植物の故郷である。森林は洪水から守り、水を清浄化する。森林は自然的なエアコンであり、そしてエアフィルターであり、加えて休息保養の場でもある。

森林と木材の気象保護効果

持続的な林業からもたらされる森林と木材は、気象のために大変良い：森林と木材の気象効果無しで 2014 年を引き合いにすると、ドイツの温室効果ガス放出は 14%高い結果となる。

ドイツの持続的管理の森林バイオマスの中に、約 11 億 6900 万 t の炭素を蓄積している。同時にこれは、長期的、自然的な炭素の循環から取り除くことになる。追加的にドイツの森林は、森林樹木の増加割合によって（樹木が利用されないで）毎年 5800 万 t の炭素と結びついている。

木材はエネルギー集約的な産物に代替

森林と木材は、いわゆる代替効果によって積極的な気象効果をより強化する。

○ 木材製品を生産するため（例えば家具または部材）

比較可能な産物よりも少ないエネルギーで済む。代替効果はチューネン研究所から材料分野において、毎年約 3000 万 t の二酸化炭素と評価されている。

○ エネルギー資源としての木材は、石油資源に代替可能である。エネルギー分野において今、大気汚染物質のバランス分析において、約 3600 万 t の二酸化炭素の再生可能なエネルギー資源が、大気汚染物質を減らしている。例えば、建築や日常における全く新しい使用分野において。

木材はドイツにおいて重要な再生可能な原料である。ドイツは今大がかりなエネルギー集約的な、有限的な原料そして石油をベースとした化石資源に代替できる。森林と木材の気象有効性は、各自が気象保護のために積極的に持続的な林業からより多くの木材使用と有限な資源を節約すべきことを示している。

持続的な林業は自然保護に不可欠

持続的な森林管理は、有機的な多様性の保持を内容としている。ドイツの森林は非常に良く組み立てられている。それは種の多様性と景観多様性に対する国民の評価する目標達成値 87%に示されている（全ての個別指標の中でもっとも高い数値である）。このことは持続的な林業の基本的な役割である。それにも拘わらず、大きなそして古い樹木並びに枯死樹木を、最小生息空間として頼りにしている小動物（例えばコウモリと多くの昆虫ーキノコ類といった）の特別な森林ビオトープを、さらに改善し、保持することが大きな目的である。

なぜならば、森林の外で多くの影響が生物多様性を損なっている。例えば有害物質、侵入する外来種または街路、幹線道路の影響、風力発電等が挙げられる。そのため、連邦政府はドイツとヨーロッパの森林において、生物多様性保護のための統合的な対策を支援する。

例えば次の政策：

- ヨーロッパ域内の森林保護一ネットワーク（INTEGRATE）で経済的そして生態系的に特徴的に最善の方法で、木材収穫に際して度々危機に瀕している樹種について、小生息空間を奨励するために賢明なる計画の提供が重要である。このことは例えば、樹皮の損傷、樹木の洞または枯死木である。さらにヨーロッパ域内では、約 40%がこの目的で森林地が予定されている。教育一デモンストレーション地に対して、科学的そしてデジタル方式での支援が計画されている。ここでは、学校、関心のある国民といった人が、自然保護一林業サイドの専門家と交流し、互いに学ぶ。具体的な事実をベースにし、そして特に森林での全ての実践活動について学ぶ。

- 共通課題”農業構造と海岸保全の改善（GAK）”の領域において、自然に密着した森林改造などの政策が奨励される。このため連邦政府と関係する州は、毎年約 2400 万ユーロ（約 31 億 2000 万円）を投入する。大規模な針葉樹の現況から広葉樹との複合的な組み立てに再構築し、広葉樹一針葉樹種の構造的に混合した状況への改善によって、森林の安定性を高める。その地域に適合した混交状況は、気象保護に対処するために最も良く適応している。

- 連邦政府は森林気象基金を活用し、年間約 1950 万ユーロ（約 25 億 3500 万円）でもって、ドイツの森林気象変動への適応、炭素蓄積の確保と森林の CO₂ 一結合の向上並びにエネルギーそして代替の潜在力開拓を奨励する。

2018・7・5 訳 青森中央学院大学 中川 一徹
